



当社展示ブース

気象技術世界博覧会（MTWE）2024に出展

9月24日から26日まで、オーストリアのウィーンで「気象技術世界博覧会（MTWE）2024」と「気象・環境測器および観測法に関する技術会合（TECO）」が同時開催され、当社も出展・参加しました。

展示では、GPSラジオゾンデ「iMS-100 eco」、降水粒子撮像カメラ「Ground-based Rainscope」、超小型成層圏観測プラットフォーム「HoverLoon」を紹介しました。今回初めて展示した「Ground-based Rainscope」と「HoverLoon」は、観測デモンストレーションやポスター発表も行い、多くの方から当社の新技術に関心が寄せられました。また、各国気象局の運用状況や顧客ニーズの調査にもつながり、環境への対応や効率的な観測方法の模索が感じられる展示会となりました。

今後も、環境への配慮を重視し、顧客ニーズに応じた提案を行いながら、受注拡大を目指していきます。

（担当：気象防災事業部、営業本部）



講演する当社従業員

第68回宇宙科学技術連合講演会 講演発表および出展

11月5日から8日まで、兵庫県姫路市で開催された「第68回宇宙科学技術連合講演会」において、「Int-Ball2 機体システムの開発における課題解決」についての講演を行いました。また、IHIグループとして展示ブースも出展しました。この講演会は、宇宙開発関係者が集う日本最大の宇宙分野の学会であり、毎年異なる場所で開催されています。

展示ブースには、月へのピンポイント着陸に貢献した小型月着陸実証機（SLIM）の航法カメラのモックアップを展示しました。開催期間中、研究者、大学関係者、学生、官公庁など、幅広い世代や職種の方々がブースを訪れました。

今後もこのような機会を活用し、宇宙開発における当社の貢献と技術力をアピールしていきます。

（担当：宇宙防衛事業部、営業本部）



当社展示ブース

「伊勢崎市ビジネス体験事業2024」を開催

10月28日、当社において「伊勢崎市ビジネス体験事業2024」を開催しました。これは、伊勢崎市教育委員会より委託・後援を受けて実施するもので、市内の中・高生17名が参加しました。

気象防災、宇宙事業の講演や展示場・工場見学の後、ラジオゾンデの放球体験やPOTEKA組立て体験、プリント基板の設計工程・はんだ付け工程を見学しました。

参加者からは、「プリント基板は思っていた数倍以上複雑だった。まだまだ知らない物事をたくさん知ることができ、とても有意義な体験だった」「いままで自分とは遠く感じていた宇宙や気象防災のシステムがすぐく身近に感じられ、とても楽しかった」「ラジオゾンデの放球やPOTEKAの組立てなど、貴重な体験ができてよかった。また来年も参加したい」などの感想をいただきました。

今後も伊勢崎市と連携し、地域の次世代人材の育成に貢献できる活動を積極的に進めていきます。

（担当：気象防災事業部、宇宙防衛事業部、生産本部、管理本部）



参加者と当社関係者で記念撮影



ラジオゾンデの放球担当を決めるジャンケン

【文中：敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。